

(1)市のコミュニティ施策について(令和2年度取り組み状況)

「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」について、周知に努めるとともに、当該計画を踏まえ、住民主体による持続可能な地域づくりに向けた取組の支援を行い、地域の特性を活かした地域コミュニティの維持、活性化を図る。

また、新総合計画に基づく「助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進」のため、組織基盤強化と担い手の確保・育成に向けた支援に取り組んでいく。

1) 地域コミュニティ活性化の推進

鶴岡市地域コミュニティ推進計画(H28～R2)の実践に向け、地域主体の「地域ビジョン」の策定と課題解決に向けた体制づくりを支援する。また、主要な施策の推進にあたっては、地域コミュニティ活性化推進委員会の意見を踏まえ、市民・地域・行政が連携、協力しながら進め、地域と行政との信頼関係を構築しながら、地域づくりに向けた支援を行う。

①「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」第2期の策定

令和3年度から5年間の取組を定めた第2期地域コミュニティ推進計画を策定する。

②地域ビジョン策定に向けた取組について

○地域ビジョン策定済 8組織

H28:藤島、朝日東部
H29:宝谷、越沢
R 1:三瀬、加茂、手向、福栄

※朝日地域、温海地域においては、平成23～25年度過疎地域集落対策事業により集落振興ビジョンを策定(朝日地域6組織、温海地域10組織)

○地域ビジョン策定中または策定予定 10組織

第二学区、黄金、小堅、由良、東栄、長沼、渡前、泉、羽黒第四、宮名

- ・地域ビジョン策定に向けたワークショップ等支援
- ・コミュニティ支援員によるまちづくり活動支援

③鶴岡地域まちづくり未来事業の実施

鶴岡地域では、広域コミュニティ組織が主体的に行うまちづくり活動に対する補助事業を実施し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティの構築を推進する。

○令和元年度採択件数 5件 (補助額 1,668万円)

○令和2年度第1回目申請件数 6件

2) 住民自治組織と広域コミュニティ組織の活動支援

住民自治組織に対し持続可能な体制整備を促すとともに、活動への支援、身近な地域課題解決に向けた取り組みを支援する。

①広域コミュニティ組織の育成・支援

鶴岡市内に33組織(鶴岡地域21、藤島地域5、羽黒地域4、朝日地域3)ある広域コミュニティ組織に対して交付する「広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金」について、平成30年度に拡充・運用の見直しを行い、昨年度の交付金に反映させている。今年度は、効果と課題等検証を行っている。

○地域づくり交付金

指定管理委託料と合わせて要員費を重点的に拡充。

地域事情に配慮し、使途制限を緩和。

使いやすい運用に変更。事務手続きの簡素化

○コミュニティセンターにおけるコロナ対策の対応

4/6～5/10 貸館休止。自治組織主催事業の中止。自治振興会等行政連絡業務は継続。

5/11～ 貸館再開。部分的な使用制限(調理実習室の貸室、飲食、高唱、スポーツ、近距離、対面、人数制限(50名))
使用者への名簿提出、3密回避対策の要請

5/18～ 飲食以外の使用制限を解除

6/1～ 飲酒を除く飲食の解除。

7/7～ 飲酒を伴う使用制限の解除

②単位自治組織の維持と負担軽減に向けた支援

世帯数や条件不利地域に配慮した「住民自治組織総合交付金」を交付し、各自組織の特色を活かし、地域事情に応じた交付金の活用を促進するとともに、活動拠点の整備については、「公民館類似施設整備費補助金」による支援や各種補助制度等の情報を提供し、単位自治組織の維持、運営を支援。

○住民自治組織総合交付金(拡充)

民生費の敬老事業等補助金の統合を含む地域づくり加算の創設。

防犯灯加算の増額。

郊外地加算の認定替え。

○コロナ対策の対応…組織が行う書面表決による総会の開催方法を周知 新しい生活様式の周知(チラシの配布等)

③「アドバイザー職員制度」の効果的な活用

地域ビジョンや鶴岡地域まちづくり未来事業等、住民自らが主体的に取り組む地域づくり活動に対し、重点的に支援するための制度。

今年度は15地区から支援依頼があり、アドバイザー職員を配置。

《具体的な支援依頼内容》

- ・地域まちづくり未来事業の取組支への助言（第二学区、大泉、田川、三瀬、湯野浜）
- ・地域ビジョン策定支援（黄金、東栄、渡前、泉、羽黒第四）
- ・地域ビジョン実行・推進の取組（手向）
- ・ワークショップ支援（京田）
- ・地域課題解決（第三学区、藤島、鈴）

以降、地区からの要請に対し、随時アドバイザー職員を配置する。

3) 生涯学習の推進

広域コミュニティ組織に「広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金」を交付。櫛引地域と温海地域は、単位自治組織に「公民館類似施設運営・活動費補助金」を交付し、生涯学習を支援している。

今年度は、コロナ感染症の現況下により、多くの事業が中止または延期となっていたが、6月以降、対策を講じながら事業実施をする地区が増えている状況。

その他、スキルアップの為に開催する、生涯学習推進員、生涯学習関係職員を対象とした研修会については、状況を見ながら、開催の判断、研修方法を検討。

4) 各種研修等の実施について

例年開催している、①鶴岡市住民自治組織合同研修会・鶴岡市町内会連合会全員研修会、②住民自治組織課題別研修会については、今後の状況を見ながら、開催の判断、研修方法を検討。

5) 参考事例：コロナ禍における状況下でのまちづくり活動

- 櫛引：松根地区「高齢者を対象とした自治会発行の商品券の発行」
- 藤島：長沼、八栄島地区「デマンド型タクシーの運行」
- 温海：全域「乗合いタクシー運行」
- 鶴岡：小堅地区「鶴岡地域まちづくり未来事業 空き家を改修した移住者向けシェアハウス」